

がんばる
皆さんを応援!

(株)北陸テクノソリューションズ

株式会社北陸テクノソリューションズは人工知能(AI)の音声認識技術により留守番電話に録音された注文を自動文字起こしする機能を卸業者や小売店等向けに開発するなど、最先端の技術で顧客の利便性を向上させるシステムを開発しています。社長の松浦洋一さんに今後の展望などについて伺いました。

福井出身、富山大学OB

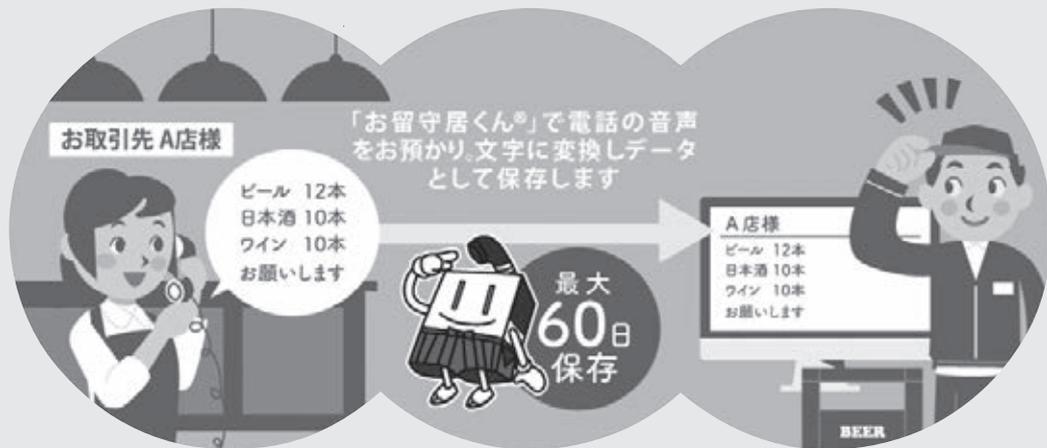
もともと福井県出身で富山大学理学部に進学し、2003(平成15)年に卒業しました。大学時代は地球科学が専門で、岩石学や地質学などを学んだのですが、就職したのは全く違うIT企業で12年間勤務しました。「修業を積んで、いつか1人でチャレンジしたい」と思っており、35歳で独立。今年7月からは母校である富山大学の敷地内にある富山市新産業支援センター内にオフィスを構えました。

地受発注サービスをサポート 「お留守居くん」を開発

現在、好評を得ているのがクラウド型FAX・留守番電話サービス「お留守

居くん(おるすいくん)です。卸業者や小売店の事務作業簡略化に役買っています。

高齢の得意先が多く、夜間に留守番電話で受注しても相手が番号非通知で名乗らないことがあります。すると、注文を受け付けることができず商品を



▲好評を得ている「おるすいくん」の機能の一部(イメージ)

届けられないのでトラブルになることもあったそうです。

「サフリーマン時代からプログラマーとして業務系のシステムの開発をやっていた。当時からニーズをシステムに反映することにやりがいを感じており、『おるすいくん』も、お客さんの雑談の中で出たアイデアを実現化しました」

事前に顧客の声を登録しておけば、AIの音声技術によって、電話番号が非通知の場合も相手が特定できるほか、留守電に録音された音声を変換します。

この商品に関してはすでに二つの特許を取っているとのこと。一つ目は音声認識関連、二つ目はFAX読み取りにおける画像認識(受信したFAXを自動でデータ化・分類分け)。非通知の電話からの声も分かる部分は現在、特許出願中です。

「2年前の春ぐらいから考え、2019(令和元)年2月に実用化しました。発注情報がクラウド上にあるため、インターネットの環境が整っていればどこからでも確認できることがメリットです」

他社がやらないことを

システムをどう発展させるかは、顧客のニーズによって変わります。そういった点では、可能性は顧客が広がってくれるのです。

「自分の中に、いろいろなアイデアがあるので、お客様と話していて新たな

商品の可能性が刺激されます。いろいろ無茶なことを言う方もいますが、そういった声は貴重です。お困りごとを解決するアイデアをどんどん実現化していきたいです」

他社がやらないことをやるのが「自分のこだわり」だと話します。サフリーマンを辞めて独立した時からのポリシーです。

また現在、コロナ禍に対応すべく、流通系のテレワークを支援するため、データを共有できるようなシステムのアイデアもあるとのこと。新入社員やビジネスパートナーも常に募集しており、行政や地元企業のニーズを聞きながら、さまざまな可能性を模索しています。

株式会社北陸テクノソリューションズは、2019(令和元)年に、その技術やアイデアの革新性などが評価され、当所と富山市が主催する富山市ヤングカンパニー大賞の優秀賞を受賞しています。当所はこれからも応援していきます！

(株)北陸テクノソリューションズ

主な事業内容

- ・ITに関するコンサルティング事業
- ・システムの企画・設計・開発・運用業務など

富山市新産業支援センター

(富山大学工学部敷地内)

☎076-482-4787

URL <https://hoku-tech.co.jp/>